

性教育講演会を開きました



10月6日（水）に、ぽっこ助産院 眞鍋 由紀子 先生をお迎えして2年生対象に「世界でたった一つの私のいのち ～いのちの現場から伝えたいこと～」をテーマにお話をさせていただきました。

妊娠・出産・性感染症等の生と性にまつわる内容や妊婦体験等、自分たちの性行動や将来のライフプランについて考えを深めることのできる1時間となりました。



～生徒の感想～（一部抜粋）

- ・性感染症や避妊についてよくわかりました。妊娠中の体験をし、あのお腹で約280日過ごすことはとてもつらいとわかりました。本当に親に感謝をしなければいけないと強く思いました。
- ・3kgの赤ちゃんの人形を抱いてみて、想像以上に重かったです。実際は動いたり泣いたりするのでもっと大変だろうなと思いました。赤ちゃんはかわいいだけではないなと思いました。私たちは当たり前のように生きているけれど、元気に生活できているのは当たり前ではないと思いました。
- ・高校生で妊娠してしまったら、どうしたらいいかわからないではなく、それなりの責任を取らなければならないとわかりました。自分のこれまでの性感染症に対しての甘さもよくわかりました。
- ・生まれてくること自体が奇跡に近いんだなと思いました。色々な知識を知れたからこそ、間違っただ判断はしないようにしたい。
- ・保健の授業でなんとなく学んでいましたが、なぜ必要な知識か、産む人の気持ちになって考えるきっかけになりました。
- ・1番は母親に感謝をしようと思いました。また正しい知識と判断をもつことが大切だと思いました。繋いでくれた命だからこそ、自分の心と体も大切にしていきたいと思いました。自分に関係ないと思わず、しっかりと考えるべきだと改めて思いました。
- ・妊娠をするのは女性だから女性だけが気を付けておくものかと思っていたけれど、男性と性交渉をして初めて妊娠するものだから、どちらもきちんと避妊しないといけないし、知っていないといけないと思いました。